

## 事業紹介 コラム①



冬の北海道は  
楽しんで  
くれたかな？

### 平成21年度 「北海道外国訪問団」、 パラグアイから来道



2月上旬、北海道から南米パラグアイ共和国に移住した人びとの子弟など6名からなる北海道訪問団(団長・横田清美さん)を受け入れた。

北海道内の南米圏交流団体との懇談や各地の視察を行った。この訪問団は交流を深めることと親戚などとの旧交を温める「父祖の地」訪問も組み込まれていてそれぞれゆかりの地方を訪ねた。

滞在期間中の気温が最も冷え込んだ時期にあたったが、厳しい寒さや雪に感動を感じるなど北国の冬の生活を体験。離道前には、折良く開催中の札幌雪まつり会場を訪れて冬の北海道のイベントを見学し、2月10日(水)、新千歳空港から帰国の途についた。(交流部南米圏交流室)

## 事業紹介 コラム②



### 平成21年度 JICA青年研修、 「ラオス・地方行政」を受け入れ

JICA青年研修の「ラオス・地方行政」を受け入れた。ラオス政府関係機関や首都ビエンチャン市の職員など女性8名、男性7名の計15名が2月11日に来日、2月12日から27日までの16日間北海道内で研修を行った。

期間中、北海道庁、札幌市、岩見沢市、栗山町などの行政担当者が制度、分権、経済、環境、観光などに関わる政策など地方自治全般についてそれぞれの現状や取り組みについての講義を行い、研修員はみなノートを取りながら熱心に聞いていた。講義に加えて、各地の施設などを訪れて行政の実際を視察した。(国際協力部)



様々な分野で  
研修内容が  
活かされると  
いいね



## 留學生日記

日本語を学んで10年！  
コーラウイス・ナッタワティーンさん

### 高校の3年間、日本語を学びました

高校では英語のほかに第2外国語として日本語を選択しました。その後進学した大学の日本語過程は初心者が多くて「上級レベルが望めなかったので、日本語専攻を止めて英語を勉強しました」というだけにまったく不自由のない日本語を話すテーさんでした。さらに研鑽を積もうと札幌国際日本語学院(札幌市中央区南6条西26丁目 現在180名在籍)で勉強中。昨年9月にまっすぐ札幌に来ました。生まれて初めての外国です。「札幌の人はみなとてもフレンドリーです」。

### ドラえもん、ポケモン、クレヨンしんちゃん

日本のマンガはもはや地球的。タイのテレビでは日本のマンガがたくさん放送されていて、テーさんも子どもの頃からそんなマンガ番組やマンガの本を見て育ちました。ある時タイ語に翻訳された吹き出しの内容が間違っているのではと感じて、ならば自分で訳そうと思ったそう。それがなんと8歳9歳の頃だって！凄い。日本語を覚えたいと思ったきっかけでした。すでに日本語能力検定試験2級に合格し、6月には1級合格を目指して受験します。「1級はすごく難しいです」。

### 元の職場に戻るか、あるいは大学院に進学します

タイは日本企業が数多く進出していて、日本語を使う仕事の機会が多い。テーさんは大学卒業後に就職した会社の人事部で主に顧客の日本企業を担当していました。「今休職しています。帰国後はこの会社に復職するか、駄目ならば大学院に進みます」と、とことん勉強を続けるつもりです。今は学院の学生寮で生活しています。学院では中国や韓国などからの大勢の留學生のほかにもスウェーデンや英国から来ている人もいて、賑やかです。出身国によって日本語表現が微妙に違うのが解るといいます。さすが日本語学習歴の長いテーさんです。学院では先生達は丁寧に解りやすく教えてくれるそうです。1年間の留学の予定です。最後に、「皆さん、タイは良い国です。一番きれいな場所はpp島です。是非遊びに来てください」と呼びかけていました。



国籍/タイ  
名前/コーラウイス・ナッタワティーンさん(愛称: テーさん)



タイの服という意味の「ジュ・タイ」(この豪華さですが普段着です)をその場で羽織っていただきました。正式には素肌に着ます。お母さんが送ってきてくれたそうです。